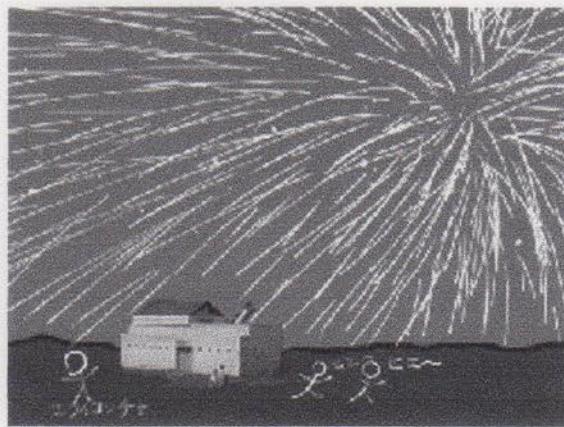


星屑

No. 284
1998. November

来るか？しし座流星群！！



熊本県民天文台

Q: しし座流星群というものがあるって、
今年は特に良く見えると聞きました。
夫と子供と猫といっしょに夜ふかして見よ
うと思いますが、でも、必ずしもたくさん流
れるとは限らないとも聞きました。どうした
らよいでしょうか？（悩める38歳主婦）

予想極大 11月18日早朝

Leonids

大出現するか!? しし座流星群



しし座流星群とは

しし座付近を輻射点として、現れる流星群です。流星のもとになるのは、彗星が軌道上にばらまいていった、小さなダストだといわれています。地球がたまたまこの彗星の軌道上に近づくと、地球の高層大気に高速度でぶつかり流星となります。その時、地球とダストの相対速度の関係で、まるで空の一点（輻射点）から四方八方に流星が降って来るよう見えます。しし座流星群は輻射点がしし座にあることからこの名前がつきました。

1998年は母彗星であるテンペル・タットル彗星が戻ってきていていることもあり、大出現が予想されます。一番流星の出現が多くなるのは11月18日早朝だと言われています。大出現を目撃して後世への語りぐさにするのか、それとも寝ていて悔恨を残すのか、決めるのはあなた自身です。



過去の大出現

テンペルタットル彗星の周期に合わせて約33年周期で大出現が繰り返されています。

1833年	10000個／時間
1866年	6000個／時間
1901年	1000個／時間
1932年	大出現見られず
1966年	150000個／時間

過去の出現の記録

上にあげた数字はあくまでピーク時の数値で、いつもこれで見えるものではありません。またピークが短いため地球上のある特定地域だけしかみれないこともあります。例えば1966年はアメリカ西部だけでみられたのですがピークは数時間の短いものでした。



とにかく見よう

まず、見ないことには始まりません。明るい流星も多いので少しぐらいの光害のある都会でも十分見えます。でも空の暗いところで見た方がいいのは言うまでもありませんね。大切なことは、できるだけ視界が開けたところで見ることです。しし座流星群というと、しし座でしか見れない勘違いしている人が多いようです。流星は、全天でみれます。輻射点の近くの流星は短く現れ、遠くの流星は長く流れます。どちらを見たいかはお好み次第です。まれに、流星がとんだ後も経路にそってなにか発光する雲みたいなものが残ることがあります。これは流星痕といわれています。この流星痕はしばらく大気に残り、上層大気の流れで少しづつ形を変えていきます。これを観察するのは、いわば“通”的楽しみ方です。



流星群大出現予想図 於 熊本県民天文台



さらに詳しい情報は

わかっているようでわかってないことが多いのが流星群です。流星の出現頻度、流星の経路、明るさ、流星痕の変化などを調べると貴重な科学的観測になります。詳しくは下のWEBページを参考にされるといいでしよう。

- ・日本流星研究会のしし座流星群のページ（しし座流星群について詳細に解説）
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~nms/nmsleo0.html>
- ・MMACのページ（観測速報はこここのページが早いです）
<http://www.din.or.jp/~thashi/index.htm>

おそらく極大の数日前には事前観測がされてさらに詳しい予報ができると思います。



熊本県民天文台では、

前日の11月17日（水）、平日ですけど一般向けに19:00-22:00の間、一般公開を行います。その後、天文台にお泊まりを希望される会員の方は、電話をされて相談してください。（おそらくだれか運営委員はいると思います。）

A: 大流星雨になったのを後で知ってくやしがるより、実際に夜空を眺めて、流星が少なかったのを残念がるほうが、まだましです。この日はできるだけ夜空をながめましょう。（某天文台運営委員）

速報：10月9日に極大を迎えると予想されたりゅう座流星群（ジャコビニ流星群）は、日本時刻10月8日22時頃、およそHR=100の大出現となりました。

そよ風パーク合宿記

西嶋好美

14日の夜はアクシデントから始まった！

さて、ルンルン気分で14日を迎えた西嶋でしたが、職場で突然の事件発生！「もしかしたら、遅れるかも」→「ちょっと遅れる」→「かなり遅れる」→「ものすごく遅れる」6時前には出ているはずだったのにと泣きたい気分で中島氏と連絡を取りつつ、やっと城南を出発できたのはなんと8時半。とっくにレストランタイムは過ぎ、空はドン曇。おまけに雨まで降り始め、後はお風呂上がりのビールに望みを託すのみとなりました。・・・が！な、な、なんとお風呂のタイムリミットは10時！間に合うのか！何とか間に合わせたいと焦る中島号の前にゆたーとしたトラックが・・・

そよ風パークに到着したのは9時55分。もうだめだと思いつつも、何はともあれお風呂に直行した私たちでありました。

ああ、でも、しかし、やはり、お風呂は終わっていたのでした。前を素通りしたコテージにUターンした私たち、西嶋・中島・中島ジュニアの3人を待っていたのは、半ばビールでできあがった、高田・松野・甲斐のおじさん三人組。と、テーブルの上の点々としたおつまみ・・・ああ、外は雨、星のかけらも見えない・・・わびしい・・・



WINDYでWindowsの夜

と、落ち込んでも仕方がないのでコテージの夜を楽しむことにしました。こうなつたらやっぱりゲーム大会だー。早速ゲームソフトを取り出すT氏。ところが！テ・テレビがないーっ！！何とかテレビを手に入れようとしたばた電話をかけまくったN氏でしたが、結局徒労に終わりました。

しかし、じたばたのおかげで、ホテルの本館のお風呂に入れることがわかり、早速広々と、あったかーいお風呂を楽しみました。残念ながら、お風呂界隈には、こっそりゲームできるテレビはありませんでしたけど・・・

さて、ゆったりホテルワインディのお風呂に入って気分をよくした西嶋は、浴衣でワインを一杯・・・そこで取り出したのは、買って間もないVAIOと、送ってきたばかりのWindows 98アップグレードキット。かくして、そよ風パークのしゃれたコ

テージの夜は、パソコンの画面と、ワインと、つまみと、「こーれがまた長いんだよねー」の声とで更けてゆくのでした。・・・・天文台とどこが違うとお？・・・畳と布団があるとこじやあ。

昨日の雨は何だったの一！の翌日

すがすがしい翌朝。布団の中で冬眠中のやまねと化している中島ジュニアを中島パパに任せ、一足先にホテル本館続きのブルーベリー館へ。和洋お好みのバイキング朝食をいただきました。もうちょっとメニューがほしい・・・などと贅沢を言いつつ、それぞれの朝食の好みがわかっておもしろいひとときでした。完全和風・完全洋風・和洋折衷・さて、それぞれ誰でしょう。

後からやってきた中島親子も一緒になって、一階のおみやげコーナー見学。みんなの関心は、おみやげよりも玄関に展示してあるオート三輪（でよかったです）に。そういえば大昔にこんなのが走っていたような・・・。うーん。でもほとんど覚えがない。きっとまだ生まれてなかったのね、私。

さてさて、美しい紅葉に心を洗われつつ、そよ風パークを後にし、私たちは一路蘇陽峡へ。ここらから、小降りの雨も收まり始め、大自然の美しさをしばし堪能。「これが U 字谷かー」と言ったら、すかさず「なんばいいよっとね。V 字谷たい。」と N 氏がのたもうた。だって、看板に書いてあったんだよー！！U 字って！！



高田号を先頭に蘇陽峡を後にし、服掛松キャンプ場を横目に、次は矢部の分水場見学へ。キャンプ場に後ろ髪を引かれそうな高田号でありましたが、途中下車しなかったのは、中島ジュニアの「はよ帰ろー！」の効果だったのでしょうか。

矢部に着いた頃には、もう晴天。昔の人々の水利工事のすごさに感嘆しつつ、ここで解散となりました。

なんだか駆け足の合宿（？）だったけれど、なかなか楽しい一夜でした。もう少し時間の余裕と騒ぐ仲間と晴れ間があったらなあーーと思います。次の機会があったら、みなさん、是非たくさんの参加を。

（ところで、酔っぱらって入れたけんどぎやんなっどかと、ちょっと心配だった Windows 9 8 無事動いてます。N 氏に感謝！）



アルバ島にて

土山由紀子



写真1：1998年02月26日 アルバ島皆既日蝕

土山由紀子撮影

(反転処理をしています：艶島)

1998年2月26日に、カリブ海の島々とベネズエラ・コロンビアあたりを通じた皆既日蝕を見に行って来ました。私にとっては通算4回目の日蝕観測遠征。91年ハワイで曇られ、94年ペルーで薄曇りの中コロナを見上げ、95年インドでやっと晴れた空の下で皆既の一部始終を体験し、そして今回。やっと「コロナを見たい！」から「コロナを楽しみたい」と思えるようになった遠征でした。

私が行ったのは、ベネズエラ沖にあるアルバ島。アルバ島は、半日もあつたら一周してしまえるほどの小さな島ですが、最近オランダから独立したばかりの独立国です。風が強い熱帯の島で、また、海の美しい、北米の人たちが遊びに来るリゾートの島もありました。

日本人をというよりも、東洋人を見かけることがほどんどなく、遠くに来たのだなあ、という印象を受けました。治安はとてもよく、夜の散歩も怖くないところでした。

写真1は、そのアルバ島で撮ってきた、皆既日蝕の風景です。私はいつも、日蝕を見た記念に、行った場所の日蝕風景を広角カメラで納めてくることにしているのです。今回は太陽高度が高かったため、17mmを使って撮影しました。

何と、日蝕直前に現地50日ぶりという雨が降ってきたりして少しハラハラさせられましたが、皆既前には見事に快晴になり、無事コロナを観測することができました。手前にそびえ立つのはサボテンで、その向こう側に低く繁っている木は、アルバでよく見かけたディビディビ・トゥリー。

アルバは常に同じ方向から強風が吹く島で、この木はみんな、風向きの方向に流れるように生長しています。アルバらしい日蝕風景を写真に残したいと思い、サボテンに刺されながら荒野を歩き回り、サボテンとディビディビ・トゥリーが入る構図を探しました。

太陽の近くには木星と水星が並び、この写真には写っていませんが金星も輝いており、まさに太陽を囲む惑星たちを目の当たりにした、贅沢な日蝕でした。空の色は、同じく快晴だった95年のインド日蝕の時よりも遙かに明るく、日蝕の度に随分雰囲気が違うものだと改めて感じました。皆既中、打ち上げ花火が上がっており、それが写真に写っていないのが、ちょっと残念でした。

写真2：写真1を撮った場所にて、機材と一緒に。



写真2は、写真1を撮った場所と機材を入れて撮った記念写真です。第2接触前に撮ったもので、私が観測した場所より向こうでは、もう誰も機材を広げている人がいないことがわかります。サボテン荒野の果ては、もうカリブ海。アルバ島の、ほとんど最南端の場所でした。

ギンガマンも来た！城南町火の君まつり

のあまりまとまっていない雰囲。

高田祐一

昼前に天文台に着くと、すでに、艶島、中島、西嶋（敬称略）の城南三人衆が、せっせと天文台の掃除をやっていた。普段は暗くなってからしか来ないからわからないが、明るいところで見る天文台は、チリが落ちてたりクモの巣がはっていたりと、意内（予想どおり）にキタナイ。

自分は、周り樹木のせん定をしようと、自宅からハサミを持ってきたのだが、足場がないことに気づいて、低いところの枝を何本か切ってお茶を濁した。もう、ハサミではたちうちできなほど太くなった枝を見て、年月の移り変わりとともに、今度来るときはノコギリも必要だなと思った。

掃除が終わると、艶島さんがこの日に間に合わせようと大急ぎでつくってきた、パワーポイントによる、星座物語の定番中の定番である「アンドロメダ姫とペルセウス物語」の試写会が行われた。艶島画伯の絵はなかなか味があるので、いくつかの絵は一種の抽象画の趣さえ感じさせる。「マウスで書いた絵だから大変だんだよ」と画伯。ところが、クリエーターの苦労は知る由もなく、周りの人間は（特に高田は）、あれやこれやと文句・注文・いちやもんをつける。曰く、アンドロメダの足首が太すぎる、これじゃルーズソックスをはいているみたいだ、そもそもアンドロメダが美人じゃなかったこの話はなりたたない、曰く、ペルセウスはズボンじゃなくて腰巻きをしているだけのはずだ、でも待てよ、ペガススにのって上からフワーって降りてきたらどうなる？

さんざん言われながらも艶島さんは、さっそく、パワーポイントの修正に取りかかる。こ

ういう風に直前まで修正がきくのは、コンピュータのいいところ。でも、あきらめがきかず直前まで修正するはめにおちいるのもコンピューターならでは、である。

となりの多目的広場、普段は高田の専用ブームラン試技場なのであるが、この時とばかりは、ステージが組まれ、アナウンサがしゃべり、TVカメラがきて、出店がでてくる。そうすると人が集まってくる。ついでに美少年酒造から樽酒がでて振るまわれる。中島先生が真っ先に列にならぶ。



ステージ上のギンガマン。後方に熊本県民天文台が見える。

ステージでのギンガマンのショーは、

フトモモをあらわにしたお姉さんの司会で始まった。ギンガマンが悪役にやられてピンチになると、このお姉さんが「さあみんな、ギンガマンに声援を送ろう」子供達に呼びかける。ステージの前の子供達は、「ギンガマンがんばれー」いつの時代も人気者である。

「星獣戦隊ギンガマン」。東映の戦隊モノの最新版である。その流れは自分が子供の頃にみた「秘密戦隊ゴレンジャー」に始まる。以来延々ととぎれることなく、続いている。もう何年になるのだろう。その間、アメリカTVで爆発的なヒットとなった「パワーレンジャー」、

派生品である「愛国戦隊大日本」や「究極戦隊コウガマン」などを生み出した。ところで、出張先のアメリカで見た米国版「パワーレンジャー」であるが、変身前の若者は日本と違つて5人のうち女の子が2人、また東洋系とアフリカ系が1人ずついるといった、国民の性別、人種構成に配慮したメンバーになっていた。お国が変わるとなんとやらである。

午後1時すぎから、一般公開はじめ。スライディングルーフを開ける。金星は太陽に近づきすぎているので、今年は見せられない。望遠鏡の説明だけである。たいした宣伝もしていないのでぼちぼちしか子供がやってこない。しかし、太陽がぎんぎんに照って暑い。暑さ寒さも・・・という言葉はこの異常気象の年にはあてはまらない。

2時すぎから、下の部屋を開放して、艶島講談師が語る「星座物語」の上映会がはじまつた。この日の上映は計4回。「アンドロメダ・・」と「塚原の九十九本の矢」をやつたそうだ。

運営していると、愉快な曲がながれてくる、どこかで聞いたと思ったらこれが、「イエローサブマリン音頭」であった。後から聞いたはなしでは、本家本元の金沢明子が来て歌っていたそうである。(もっとも曲のオリジナルはビートルズである) しまつた、見過ごしてしまつた。かえすがえす残念。そのほか、「かき氷事件」も起きた。詳しく知りたい方は、交渉にあたられた中島先生にきいてください。

(0)
(..)
(☆)

9月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率日 7/30日=23.3% 来台者数名 107名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
2(水)	はれ		中尾	月の写真をとりました。うまくとれているかな?
11(月)	晴れでも もやって いる	0	西嶋	晴れているようでよく見えない。お客様からのTELの対応だけで終わつた。
12(土)	くもり	8名	徳尾	木星+徳尾さんの解説 TALK ABOUT 徳尾、西嶋、艶島、高田、小林J、中島、岩永、中尾、徳丸
13(日)	晴	15名	艶島	木星、あとは「電子紙芝居」塚原の99塚、夏の星空、流星、友の会に入会1名
19(土)	くもり→雨	なし	中島	雨になつてしまつた。夕方は夕焼けがきれいだったので帰るう
20(日)	晴	24名	艶島、甲斐	木星、天王星、海王星、M13、アルタイル、アンタレス、アーケツウルス シンチレーション悪く木星は川の中 きれいどころにのせられて数年ぶりに姿を現した泉です。えっ誰って?知っている人に聞いて下さい。 元熊大天研の人間です。 安部です。ふつかつします。よろしくおねがいします。
23(水)	晴	60名ぐ らい	艶島、中島、西 嶋、高田	城南町火の君まつり 電子紙芝居「アンドロメダ姫」「塚原の九十九本の矢」 40cm望遠鏡の説明 ギンガマンかき氷 ゲーム「パラッパラッパー」 「メタルギアソリッド」

B5のたわごと

最近カラッと晴れて、涼しくなりましたね。この間まで、ジメジメしていましたがやっと星見の季節?です。お月見はとてもラッキーに、晴れ。日頃の行いの良さかな?と思っているのは、本人だけ・・・なんでしょうねえ。さて、待ちに待ったしし座流星群。いちばん気になるのはお天気ですが、雨は雨でも流星雨になつたら嬉しいですけど。さあ、日頃の行いの成果が出るか!! 私の頭には石が降ってきそうです。

☆ 11月の天文現象&行事☆

2日(月) 十三夜(栗名月)

4日(水) 満月(14:18) 月の距離が最近(356611km本年最近)

8日(日) 立冬 98P/高見沢彗星の近日点通過(周期7.2年)

11日(水) 下弦(09:28) 水星が東方最大離角(22°56'.7 光度-0.2等)

12日(木) おうし座流星群の南群が極大のころ

14日(土) トーケアバウト(20:00~)

17日(火) 月の距離が最遠(406487km)

18日(水) しし座流星群が極大

19日(木) 新月(13:27)

21日(土) 21P/ジャコビニ・チンナー彗星の近日点通過(周期6.6年)

22日(日) 小雪

27日(金) 上弦(09:23)

29日(日) オリオン座x流星群が極大のころ

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1998年11月号 通巻284号

発行所 熊本県民天文台事務局 ☎ 861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML